

第7回日本木材学会論文賞

「スギ集成材の10年間屋外暴露の結果（第1報） せん断強度および木部破断率」掲載号：59巻5号

柳川 靖夫（奈良県森林技術センター）

この度拙論文を木材学会誌の論文賞に選考していただきましたこと、感激しております。正直に申し上げます、受賞など思いもよらないことでした。

本論文は、集成材の接着耐久性を屋外暴露試験および促進劣化試験で調べた研究を基としています。この研究では、スギラミナに木材保存剤（ACQ および AZP）を加圧注入した後、2種類の接着剤（レゾルシノールおよび水性高分子イソシアネート系）で接着して集成材を作製しました。接着耐久性を評価するため、ブロックせん断試験片を採取して繰り返しの煮沸処理および減圧加圧処理を実施し、せん断強度の変化を調べました。また、ブロックせん断試験片および実大集成材の屋外暴露試験を実施し、せん断強度の変化を調べました。これらの結果を関連付けることにより、集成材の接着耐久性を明らかにすることを試みました。

受賞論文は屋外暴露10年目の結果を取りまとめたものであり、接着耐久性は木材保存剤と接着剤の組み合わせにより変化すること、木材保護塗料の塗布は接着耐久性を高めること、等を報告しました。現在も集成材の接着耐久性に関する研究を継続しており、集成材の屋外使用に際し役立てていただける結果が報告できるよう心がけて参ります。

最後になりましたが、選考して下さいました先生方に感謝申し上げますとともに、本論文に関わった職場の方々に厚くお礼申し上げます。